

～中小企業のBCPはどこまで対策を打てばよいのか？～ 事業継続計画（BCP） の作り方

研修のねらい

豪雨の発生が予想される状況で、従業員に「明日の出勤は自己判断」という指示を出した会社があった。従業員からは、「もし無理して出勤して被災したら?」「私だけ出勤していなかったら、周りからどういう目で見られるか不安」などの声が聞かれた。

この事例のように、危機への対応を組織的に行えないと、現場は混乱し顧客や関係者が被害に巻き込まれるなどの影響が懸念されます。この研修では、地域特有のリスクを念頭に置きながら、中小企業が自らの身の丈に合った危機対応やBCPの仕組みを構築する手法を学びます。

研修のポイント

- ✓ 企業のリスクマネジメントとBCP、BCM（事業継続マネジメント）の基本を理解できる。
- ✓ BCP策定に必要な考え方と実践のポイントについて、全体像を捉えながらしっかりと身につけることができる。
- ✓ 地域特有の災害リスクを踏まえ、「自社の場合は何が課題か」を考えるきっかけを得られる。

研修期間

2026年
7/3金
(1日間、6時間)

対象者

経営者・経営幹部等

定員 20名

受講料 16,000円(税込)

会場

セントラーレ・ホテル京丹後
京都府京丹後市大宮町三坂105-15

月日	時間	科目	内容
7/3金	9:30-9:40	事務連絡	
	9:40-12:40	BCPの必要性と作成のコツ	BCPとは何か、対策をどこまで講じればよいのかなどを整理し、BCP策定のコツを学びます。 <ul style="list-style-type: none"> ・BCPの必要性 ・規模別、業種別、業態別に異なるBCPのポイント ・リスクの想定をどのように考える必要があるか ・BCP導入企業の事例 ・BCP作成にあたって陥りやすい場面と解決法
	13:40-16:40	BCPの作成手順と勘所	BCPの作成の手順とその勘所や防災対策とBCPの違いについて事例を用いて解説しながら、会社に戻ってすぐにも実践できる具体策を学びます。 <ul style="list-style-type: none"> ・BCPと防災対策 ・BCPの3つのエッセンスと5つの基本チェック ・「ヒト・モノ・カネ・情報・取引先」の対応策の具体化 ・BCPを社内に根付かせるための訓練計画 ・地域特性への対処法
16:40-16:50	修了証書交付		

※事務連絡等を含んだ時間：6時間20分
※カリキュラムは都合により変更する場合があります。予めご了承ください。

講師紹介(敬称略)



株式会社フォーサイトコンサルティング
執行役員

五十嵐 雅祥 (いがらしまさよし)

1968年生まれ。チーフコンサルタント。外資系投資銀行、外資系保険会社勤務を経て、投資ファンド運営会社に参画。国内中堅中小製造業に特化したM&A案件発掘、投資戦略立案業務を中心に、案件の特性に応じた提携先とのプロジェクトチーム組成の際のプロジェクトマネージャーとして業務を遂行。2009年より現職。「企業価値を高めるためのリスクマネジメント」のアプローチでコンプライアンス、BCP、内部統制等のコンサルティングに従事。